

我が国における国際仲裁の活用の着実な推進を考える実務研究会（第6回）

令和5年12月15日（金）  
10：00～12：00  
法務省会議室

## 議事次第

1 開会

2 審議

- ・ 意見交換
- ・ その他

3 閉会

### 〈配布資料〉

資料1 道垣内教授提出資料

資料2 期日間オンラインヒアリング結果概要

資料3 新設された仲裁審問専用施設についての聴取等結果概要

資料4 論点整理とヒアリング結果概要

2023 年 12 月 15 日

**自己紹介：仲裁と私**早稲田大学教授・東京大学名誉教授・弁護士  
道垣内正人

- 国際民事手続法の一部として、40 年以上にわたって研究教育
- 仲裁に関する主な著作
  - 「日本の仲裁判断の主要な外国における執行」松浦馨・青山善充編『現代仲裁法の論点』(有斐閣)421-430 頁[1998]
  - 「主要な外国の仲裁判断の日本における執行」松浦馨・青山善充編『現代仲裁法の論点』(有斐閣)431-439 頁[1998]
  - 「**国際商事仲裁---国家法秩序との関係**」国際法学会編『日本と国際法の 100 年：第 9 巻：紛争の解決』79-102 頁[2001]
  - 「新仲裁法のもとでの国際商事仲裁」日本国際経済法学会年報 13 号 119-136 頁[2004]
  - 「国際仲裁における仲裁地の意味と機能」JCA ジャーナル 2004 年 12 月号 62-66 頁[2004]
  - 「仲裁と訴訟係属との関係」、「仲裁判断の基準(国際関係)」、「仲裁判断と判決の抵触及び仲裁判断相互の抵触」小島武司 = 高桑昭編『注釈と論点・仲裁法』(青林書院)86-88、211-214、224-226 頁[2007]
  - 「国際契約におけるボイラープレート条項をめぐる若干の留意点—準拠法条項・裁判管轄条項・仲裁条項—(1)-(7・完)」(1)NBL 870 号 10-18 頁、(2)871 号 32-37 頁[ここまで 2007]、(3)872 号 90-99 頁、(4)873 号 28-39 頁、(5)874 号 66-76 頁、(6)875 号 46-53 頁、(7・完) 876 号 49-59 頁[2008]
  - 『**国際契約実務のための予防法学:準拠法・裁判管轄・仲裁条項**』(商事法務)[2012]
  - 「仲裁合意」谷口安平ほか編『国際商事仲裁の法と実務』(丸善雄松堂)81-128 頁[2016]
  - 「日本商事仲裁協会(JCAA)の新しい動き---3 つの新仲裁規則の施行等」NBL1141 号 4-11 頁[2019]
  - 「**日本商事仲裁協会(JCAA)の新しい仲裁規則における若干の規定について**」仲裁と ADR 14 号 9-18 頁[2019]
  - 「**コモンロー型仲裁へのアンチテーゼとしての大陸法型仲裁**」早稲田法学 95 巻 3 号 119-143 頁[2020]
  - 「**法の支配と国際商事仲裁**」早稲田大学法学会百周年記念論文集第 4 巻(展開・先端・国際法編)353-374 頁[2022]
- 仲裁機関との関係
  - 2003 年 4 月-2015 年 6 月：日本スポーツ仲裁機構・機構長(代表理事)

- 2018年6月-2022年6月：**日本商事仲裁協会・仲裁調停担当業務執行理事**

■ 仲裁人の経験

- 1998年以降、JCAA 仲裁 9 件(うち、外国国籍の仲裁人との 3 名のパネル 2 件)
- 2002 年以降、WIPO ドメインネーム仲裁約 80 件(うち、外国国籍の仲裁人との 3 名のパネル 1 件)

(なお、仲裁事件における代理人経験なし)